

平成 11 (1999) ～19 (2007) 年度 催事一覧

当館における普及事業は、こどもを対象とした夏休みの体験講座と、その他、主に一般むけの二種類に大別される。尚、参加費の記載のないものは入館料のみで参加できるものである。講師の所属・役職は開催当時のものである。また、催物の名称は年度により異なる場合もあるが、最新のものを採用した。

(1)夏休み体験講座

①お宝を包んでみよう

—美術品の包み方を体験してみよう！—

概 要：お宝（博物館・美術館の展示品）を運ぶ美術品輸送の仕事について、専門家から体験談を交えた説明を受け、実際に美術品を梱包する。日本通運株式会社美術品事業部協力。

対 象：平成 11 年—小学校 3 年生～中学生（親子参加可）
平成 12～14 年—小学校 3 年生以上（親子参加可）

参加費：100 円

実施日・参加者数：

平成 11 年(1999) 7 月 28 日(水)・8 月 10 日(火)

(全 4 回、26 名)

平成 12 年(2000) 8 月 8 日(火)・23 日(水)(全 2 回、32 名)

平成 13 年(2001) 8 月 15 日(水)・22 日(水)(全 2 回、21 名)

平成 14 年(2002) 8 月 22 日(木)(全 1 回、10 名)

②ひっこしタイムトライアル

—ひっこしの仕事に挑戦！—

概 要：身近な物流のひとつ「引越し」のベテラン作業員から、仕

事の様子や工夫を紹介。食器などの壊れやすい物の包み方も体験。

対 象：平成 11 年—小学校 3 年生～中学生（親子参加可）
平成 12～15 年—小学校 3 年生以上（親子参加可）

参加費：100 円

実施日・参加者数：

平成 11 年(1999) 8 月 4 日(水)・20 日(金) (全 4 回、46 名)

平成 12 年(2000) 8 月 10 日(木)・25 日(金) (全 2 回、8 名)

平成 13 年(2001) 8 月 24 日(金) (全 1 回、30 名)

③夏休み宿題相談コーナー

概 要：物流について調べたいこどもたちに、疑問解決のためのアドバイスを学芸員が行う。テーマごとの資料も提供。

対 象：小学生～中学生

実施日・参加者数：

平成 11 年(1999) 8 月 15 日(日)・22 日(日)・29 日(日)(7 名)

平成 12 年(2000) 8 月 26 日(土)～31 日(木)(3 名)

④ダンボール工作教室・工作コーナー

概 要：ダンボールで機関車・トラック・貨物船などを作る。年齢に応じたモデルを用意。ほぼ毎年新しいモデルを開発している。

対 象：平成 12～14 年一こども
平成 15～18 年一幼児～小学生
平成 19一幼児～小学校 3 年生

参加費：100 円

実施日・参加者数：

平成 12 年(2000)8 月 27 日(日)・29 日(火) (全 4 回、60 名)
平成 13 年(2001)8 月 19 日(日)・29 日(水) (全 4 回、44 名)
平成 14 年(2002) 8 月 25 日(日) (全 2 回、62 名)
平成 15 年(2003) 8 月 24 日(日)
(全 2 回、こども 32 名+保護者 22 名)
平成 16 年(2004) 8 月 22 日(日)・29 日(日)
(全 4 回、こども 64 名+保護者 50 名)
平成 17 年(2005) 8 月 20 日(土)・27 日(土)
(全 5 回、こども 80 名+保護者 50 名)
平成 18 年(2006) 8 月 2 日(水)・6 日(日)・8 日(火)・9 日(水)・
13 日(日)・20 日(日) (全 12 回、こども 61 名+保護者 42 名)
平成 19 年(2007) 8 月 19 日(日) (こども 33 名+保護者 15 名)

⑤小学生バス見学会

概 要： 当館見学後、地下 1 階「現代の物流」展示室にある陸海空の物流ターミナルのジオラマの実物を見に出かける。

対 象：平成 13 年一小学生
平成 14～17 年一小学校 4～6 年生

参加費：平成 13 年一1,100 円
平成 14～17 年一2000 円

実施日・参加者数・見学場所：

平成 13 年度(2001)8 月 7 (火)・16(木)・17(金)日 (計 135 名)
J R 貨物東京貨物ターミナル駅/羽田空港 J A S 訓練所・羽田空港貨物地区日本通運貨物上屋/東京港青海海上コンテナ埠頭/日本通運東京中央ターミナル
平成 14 年(2002) 8 月 23 日(金) (28 名)
東京港大井海上コンテナ埠頭・商船三井プライベートバース/ J R 貨物東京貨物ターミナル駅/羽田空港 J A S 機体工場/羽田空港貨物地区日本通運棚貨物上屋/日本通運東京中央ターミナル
平成 15 年(2003)8 月 13 日(水) (38 名)
東京港青海海上コンテナ埠頭/羽田空港 J A S 機体工場/羽田空港貨物地区日本通運貨物上屋/日本通運東京海運支店・食品ターミナル
平成 16 年(2004)8 月 12 日(木) (35 名)
東京港青海海上コンテナ埠頭/羽田空港 J A L 機体整備工場/羽田空港貨物地区日本通運貨物上屋/ J R 貨物東京貨物ターミナル駅/日本通運東京海運支店・東京食品ターミナル
平成 17 年(2005)8 月 22 日(月) (15 名)
東京港青海海上コンテナ埠頭/羽田空港 A N A 機体整備工場/ J R 貨物東京貨物ターミナル駅/日本通運東京海運支店・東京食品ターミナル

⑥博物館体験ツアー

概 要：品川区立の児童館との連携事業として実施した催し。平成 14 年(2002)は東五反田児童センター・大崎児童センター、平成 16 年(2004)は東五反田児童センター・小関児童センター、平成 17 年(2005)は小関児童センターと共催。展示見学や各種体験キットを楽しんでもらう。

平成 14 年には、トラック見学と引越荷物の梱包体験も行った (日本通運株式会社秋葉原支店協力)。

対 象：小学生

実施日・参加者数：

平成 14 年(2002) 8 月 6 日(火) (38 名)
平成 16 年(2004) 8 月 27 日(金) (小学生 36 名+引率 3 名)
平成 17 年(2005) 8 月 10 日(水) (小学生 16 名+引率 2 名)

(2)その他

①美術品の梱包～入門 (陶器) 編～

概 要：梱包の専門家を講師に招き美術品梱包の初歩を体験するもの。日本通運株式会社美術品事業部協力。博物館学芸員の資格を取得中の大学生や、博物館関係者などが参加。

対 象：平成 12～15 年一高校生以上
平成 16～18 年一大学生以上

参加費：200 円

実施日・参加者数：

平成 12 年(2000)8 月 8 日(火)・23 日(水) (全 2 回、35 名)
平成 13 年(2001)8 月 15 日(水)・22 日(木) (全 2 回、48 名)
平成 14 年(2002) 8 月 21 日(水)・22 日(木) (全 3 回、66 名)
平成 15 年(2003)8 月 21 日(木)・22 日(金) (全 4 回、73 名)
平成 16 年(2004) 8 月 19 日(木)・20 日(金) (全 4 回、86 名)
平成 17 年(2005) 8 月 18 日(木)・19 日(金) (全 4 回、68 名)
平成 18 年(2006) 8 月 17 日(木)・18 日(金) (全 4 回、31 名)

②映画上映会

対 象：一般

a.平成 11 年度(1999)

概 要：「日通映画を見る会」「映像資料が語る物流の戦後史」と題し計 14 作品を上映

実施日・参加者数：

4 月 6 日(火)・5 月 13 日(木)・23 日(日)・6 月 3 日(木)・20 日(日)・
7 月 1 日(木)・18 日(日)・8 月 8 日(日)・26 日(木)・9 月 2 日(木)・
19 日(日)・10 月 2 日(土)・17 日(日) (全 13 回、計 196 名)

b.平成 12 年度(2000)

概 要：「物流の視点—はこぶ姿から時代を見る」と題し計 9 作品上映。昭和 20 年代～50 年代までははこぶ姿を捉えた映像作品から、当時の時代背景を探る試み。

実施日・参加者数：

7 月 14 日(金)・16 日(日)・8 月 18 日(金)・20 日(日)・9 月 22 日(金)・
24 日(日)・10 月 13 日・15 日 (全 8 回、各回 20 名程度)

c.平成 13 年度(2001)

参加者数：計 221 名

1.フィクションに描かれた運ぶすがた

概 要：運ぶ姿を描いた劇映画を鑑賞。計 2 作品上映。

実施日：7 月 28 日(土)・29 日(日)・8 月 25 日(土)・26 日(日)

2.物流を支えたもの・こと・ひとびと

概 要：計 11 作品上映。物流を支えた道路整備・造船技術・鉄道で働く人々の様子を昭和 30 年代の記録映画に探す。

実施日：9 月 28 日(金)・30 日(日)・10 月 26 日(金)・28 日(日)・11 月 24 日(土)・25 日(日)

d.平成 14 年度(2002)

概 要：「物流の視点」と題し平成 11 年度～平成 13 年度に行った上映会で、特に好評だった作品を選定したもの。計 26 作品上映。

実施日：8 月 31 日(土)・9 月 1 日(日)・8 日(日)・10 日(火)・13 日(金)・16 日(月)・22 日(日)・23 日(月)・10 月 6 日(日)・11 日(金)・13 日(日)・14 日(月)・26 日(土)・27 日(日)・11 月 3 日(日)・4 日(月)・11 月 23 日(土)・24 日(日)・平成 15 年(2003) 1 月 18 日・19 日(日) (全 20 回、195 名)

③クリスマス・サンタクロース映画会

概 要：プレゼントを「運ぶ」サンタクロースをテーマにした映画「サンタのおくりもの SANTA'S TOYS」など毎回 2 作品を上映し、サンタがこどもたちにプレゼントを渡すイベント。

対 象：小学校低学年・未就学児童(親子参加可)

参加費：こどもは入館料無料

実施日・参加者数：

平成 13 年(2001)12 月 22 日(土)・23 日(日)
(全 2 回、こども 15 名・大人 10 人)
平成 14 年(2002)12 月 21 日(土)・22 日(日)
(全 2 回、54 名)
平成 15 年(2003)12 月 20 日(土)・21 日(日)

(全2回、こども43名・大人26名)
平成16年(2004)12月18(土)・19日(日)
(全2回、こども27名・大人24名)
平成17年(2005)12月17日(土)・18日(日)
(全2回、こども27名・大人24名)

④古文書講座

概要：館外から講師を招き、江戸時代の旅や物流に関する古文書を読み解く。

対象：一般

参加費：500円(入館料を含む)

講師：平成13(2001)～14(2002)年度

駒澤大学非常勤講師 櫻井邦夫氏

平成15(2003)～18(2006)年度

交通史研究会会長・元文京女子大学教授 増田廣實氏

実施日・参加者数：

平成13年(2001)8月～12月(全10回・のべ216名)

平成14年(2002)10月～隔週土曜日(全10回・のべ218名)

平成15年(2003)6月～10月の隔週土曜日(全8回・のべ224名)

平成16年(2004)4月・6～7月・平成17年(2005)2～3月の土曜日(全8回・のべ235名)

平成17年(2005)4月2日・16日・平成18年(2006)3月4日・18日各土曜日(全4回・のべ118名)

平成18年(2006)4月1日・15日・10月7日・21日・11月4日・25日(全6回・のべ148名)

⑤講演会

対象：一般

a.平成11年度(1999)

1.開館1周年記念 特別講演会

定員：各回60名

・「中国物流事業の現状と将来展望について」

実施日：8月5日(木)

講師：賀来紀久男氏(山九株式会社)

・「輸入貨物に係わる国内物流システムの効率化について」

実施日：9月8日(水)・10月6日(水)

講師：塩畑英成氏(株式会社日通総合研究所)

2.月例定期講演会「物流効率化を考える」

概要：株式会社日通総合研究所の協力を得て開催した物流に関する月例定期講演会。全5回。

定員：各回60名

・「サプライチェーン・マネジメントの進展と物流の変革」

実施日：11月11日(木)

講師：紙中英伸氏

・「キャッシュフロー経営と在庫問題」

実施日：12月9日(木)

講師：山田健氏

・「環境負荷の軽減に向けた都市内物流の効率化」

実施日：平成12年(2000)1月13日(木)

講師：大島弘明氏

・「最近におけるモーダルシフト施策の展開」

実施日：平成12年(2000)2月12日(木)

講師：佐藤信洋氏

・「港湾を中心とした国際物流の効率化」

実施日：平成12年(2000)3月9日(木)

講師：小椋幸一氏

b.平成13年度(2001)

「保永堂版『東海道五十三次』にみる江戸時代の交通と旅」

実施日：平成13年(2001)12月15日

講師：駒澤大学非常勤講師 櫻井邦夫氏

関連事業：東海道制定400年記念歌川広重「東海道五十三次」(保永堂版、複製)の展示を、平成13年11月24日(土)～平成14年1月20日(日)に開催。

参加者数：45名

⑥産業考古学会映像記録分科会協力・共催事業

a.平成15年度(2003)

映画会「映像でみる産業」

概要：昔の産業技術に注目し、映像化された知られざる産業技術を「トンネル掘削の技術」「橋」「重量品・美術品を運ぶ」「人と水の調和 それは壮絶なドラマ」「鉄と道具」「いろいろな船」「自動車の100年」などのテーマで紹介した。

実施日：7月～平成16(2004)年3月(毎月1回、全8回)

参加者数：計138名

b.平成16年度(2004)

1.産業映画上映会

概要：「諸岡青人 追悼上映会」「東北の伝統工芸」「東北の伝統産業」「鉄の周辺」「明治建築」「都市開発」をテーマとし、計24作品上映。

実施日・参加者数：

7月11日・8月8日・9月12日・10月10日・11月7日・12月12日(日曜日、全6回、125名)

2.映画会「映像で見る戦後日本の産業史」(全10回)

一暮らしと生産の現場から一

概要：戦後60年、ほとんど上映される機会のない、企業や各種団体が制作した研修・PR用映像を産業史の証人として、光をあてていく試み。計10作品上映。

実施日・参加者数：

平成17年(2005)1月16日・2月13日・3月13日(日曜日、計3回、132名)

c.平成17年度(2005)

映画会「映像で見る戦後日本の産業史」(全10回)

一暮らしと生産の現場から一

概要：前年度に引き続き開催。計23作品上映。成果品として産業考古学会映像記録分科会による報告書を作成し、これに協力した。

実施日・参加者数：

4月10日・7月3日・8月7日・9月11日・10月9日・11月13日・12月11日(日曜日、計7回、237名)

d.平成18年度(2006)

『あ』から始まる産業映画試写会

概要：戦後の産業映画を全て見ていこうという試み。物流とは関係のない内容が殆どであるが、産業技術博物館という性格から、産業技術映画の公開に協力することも大切な役割であると考え実施した。計42作品上映。

実施日・参加者数：

4月22日(土)・5月27日(土)・6月24日(土)・7月23日(日)・8月27日(日)・9月24日(日)・10月29日(日)・11月26日(日)・12月24日(日)(全9回、125名)

e.平成19年度(2007)

1.「鍛冶映像*東北北部タタラ製鉄*鉄の輸送」

概要：映像上映と講演会

・長島節五氏による鍛冶に関する映像と報告

・渡辺ともみ氏(神奈川大学)による講演

「近世東北北部のタタラ製鉄と製品の流通」

実施日・参加者数：9月8日(土)(42名)

2.「自主製作された伝統産業映画 醤油づくりと量表」

概要：映像「むしろ麹 一風の港のしょう油づくり」「備後表」の上映、及び醤油の試食・監督による講演

実施日・参加者数：11月25日(日)(10名)

3.動き出した『燃料電池電車』のシンポジウム

概要：古田良助氏(JR東日本・先端鉄道システム開発センター)、山本貴光氏(財団法人鉄道総合技術研究所)による講演

実施日・参加者数：2月23日(日)(24名)

4.幕末・明治期における鉄鋼原燃料と製品の流通

概要：講演・研究発表と資料紹介。原田喬氏「幕末・明治の中小坂鉱山における鉱石と製品の輸送」、鈴木暁氏「明治期の鉄鋼原燃料と製品の流通システム」、佐々木稔氏「外国船による幕末の原燃料輸送」、梶原利夫氏「明治中期の鉄の輸送」

実施日・参加者数：3月22日(土)(22名)